

既にご案内の通り、当財団では 8/20（木）に自転車をテーマにした JAEF 研修会を開催します。
今回はこれに因み、最近当局より公表された自転車の交通安全に関する情報・データをご紹介します。

先月内閣府より「秋の全国交通安全運動」〔9/21（月）より 10 日間実施〕に関し発表されましたが、その内容において従来との明確な違いを発見しました。
それは「運動重点」の中で「全国重点」としている項目のトップに、「(1) 子供を始めとする歩行者の安全と自転車の安全利用の確保」が挙げられていることです。
過去 2 回を遡ってみても、自転車を取り上げてはいるもののトップ項目ではありませんでした。
令和 2 年春：「(3) 自転車の安全利用の推進」
令和元年秋：「(3) 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止」

「全国重点」はいずれも重要な活動ではありますが、トップ項目に挙げられたということは、極めて高い問題意識の表れではないでしょうか。

<内閣府 HP URL>

https://www8.cao.go.jp/koutu/keihatsu/undou/r02_aki/youkou.html

加えて、自転車の安全利用が重要課題であることを示す最新データをご紹介します。
警察庁の「第 1 当事者*別死亡事故件数」の最新データ（2020 年上半期累計）によれば、10 年前（2010 年上半期）と比べ全体は約 38%減少（2,155 件→1,334 件）したものの、自転車は逆に約 8%増加（95 件→103 件）しています。
自転車利用者によるルールやマナーの順守は、更に強化されるべき課題です。

*「第 1 当事者」：最初に交通事故に関与した事故当事者のうち最も過失の重い者

<政府統計ポータルサイト内「第 1 当事者別死亡事故件数の推移」URL>

https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00130002&tstat=000001032727&cycle=1&year=20200&month=12040606&stat_infid=000031964095&cycle_facet=cycle&class1val=0

このようなデータも含め、コロナ禍で自転車利用増加の動きもみられる昨今、この秋の交通安全運動のみならず、永続的な安全啓蒙活動の重要性がさらに高まっているといえるでしょう。

日本自動車教育振興財団 メルマガ事務局

本メルマガへのご登録内容の編集・解除は、下記よりお願いします。

▼登録内容編集

<https://matomete-mail.com/bm/p/f/tf.php?id=149239601>

過去に配信したメルマガは、以下 URL よりご覧になれます。

▼バックナンバー

<http://www.jaef.or.jp/7-mail-magazine/index.htm>

